

統計とっとり

平成25年3月
第102号

鳥取県企画部統計課
TEL 0857-26-7103
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>



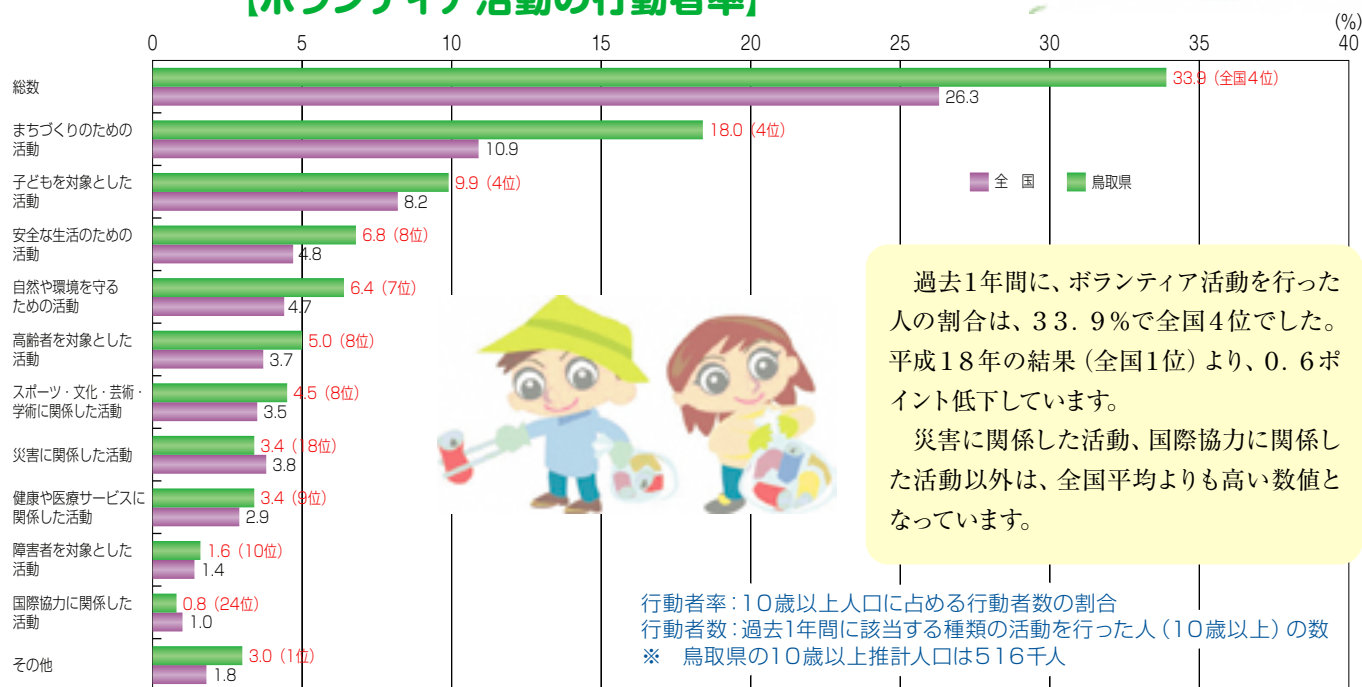
平成23年社会生活基本調査の結果が公表されました

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施されており、平成23年調査は8回目に当たります。

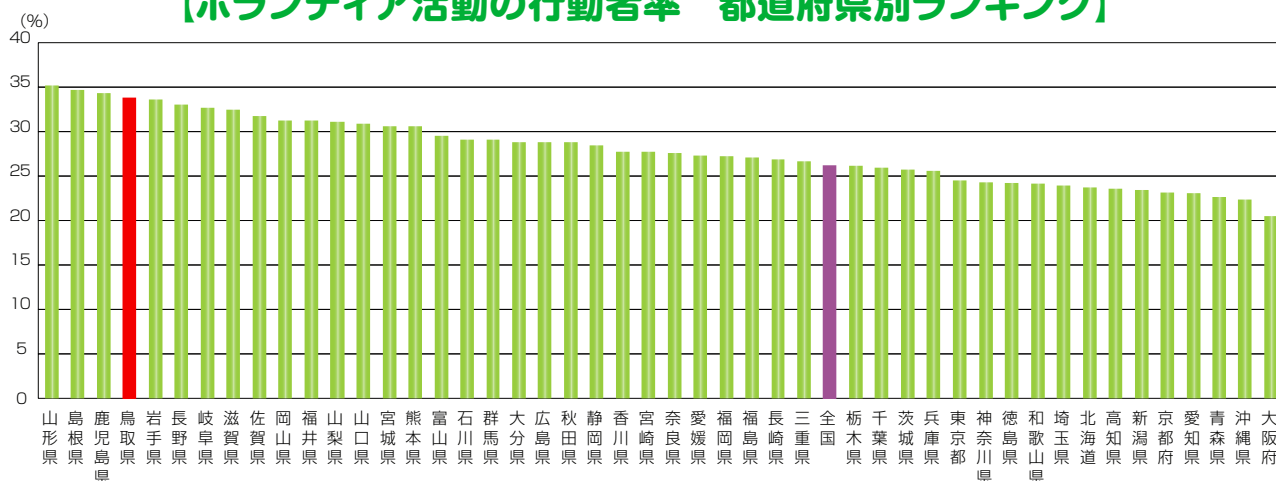
鳥取県では、約1,500世帯に居住する10歳以上の世帯員が対象となりました。



【ボランティア活動の行動者率】



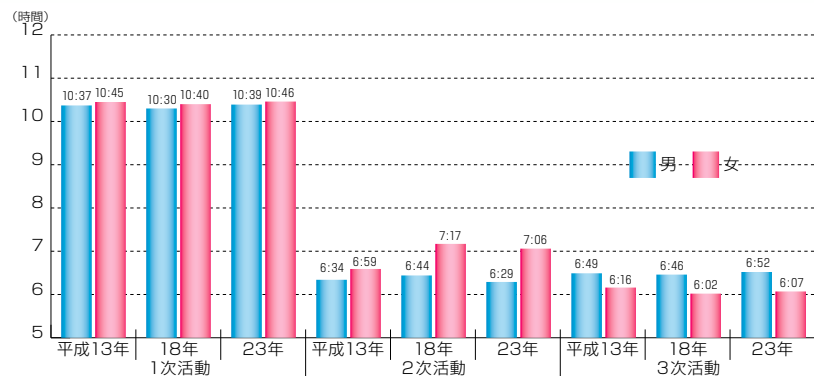
【ボランティア活動の行動者率 都道府県別ランキング】





平成23年社会生活基本調査～調査結果の一部を紹介します～

【鳥取県の男女別、行動の種類別生活時間 週全体】



平成13年以降3回の調査の推移をみると、男女ともに1次活動時間及び3次活動時間は凹の、2次活動時間は凸のカーブを示しています。

男女差をみると、いずれの年も、女性は1次活動時間と2次活動時間が長く、3次活動時間は男性が長くなっています。

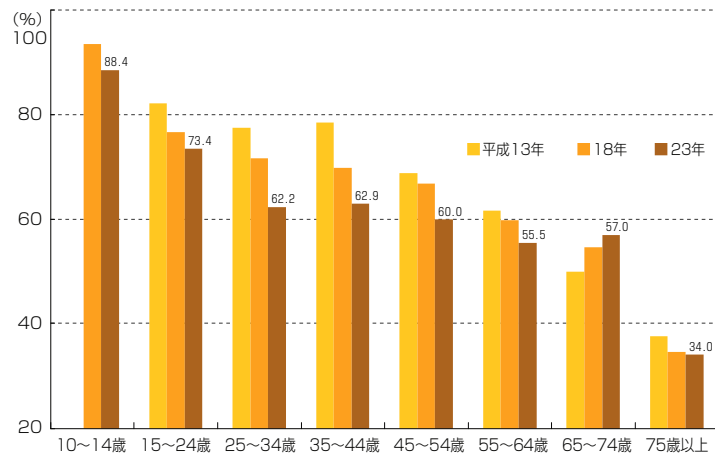


【1次活動】睡眠、食事など生理的に必要な活動

【2次活動】仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

【3次活動】1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

【鳥取県のスポーツの年齢別行動者率】



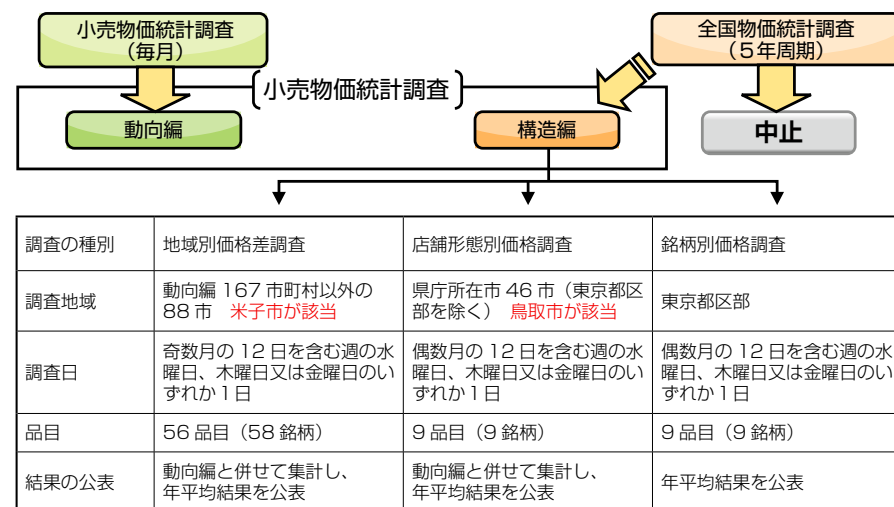
※平成13年「10～14歳」区分は非公表

年齢が高くなるにつれてスポーツをする人の率が低下する傾向は全国平均と同じです。鳥取県では、過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は302千人、行動者率は58.5%（平成18年比で5.1ポイント低下）で、ほとんどの年齢区分で調査毎に率が低下する中、65～74歳の区分のみ上昇しています。平成18年から平成23年にかけて全国平均でも65歳以上の各区分で増加しています。日々の暮らしに少しでも運動を取り入れて、健康を維持したいですね。



小売物価統計調査（構造編）の創設について

近年、消費・流通構造が急速に変化する中で、物価の構造分析に関するニーズに対応できるよう、5年に1回実施されてきた全国物価統計調査が平成19年の調査を最後に平成25年1月から小売物価統計調査に統合され、現行の小売物価統計調査を「動向編」と位置付ける一方、「小売物価統計調査（構造編）」が創設されました。



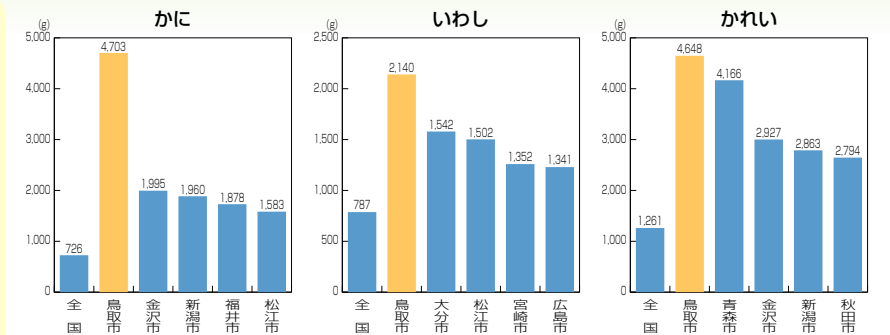
総務省統計局編集発行
「統計調査ニュースNo.309」より引用



家計調査からみた鳥取の家庭の食生活

家計調査では、調査世帯の皆さまに毎日、購入した商品を家計簿に記入していただきます。そのため、消費者の嗜好、特に食品についてどのようなものをよく購入しているのかがわかります。

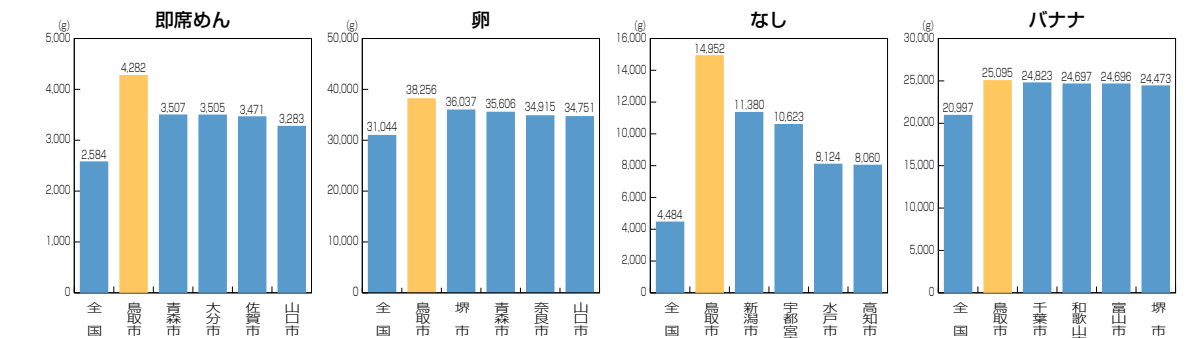
鳥取市の1世帯当たり年間購入量が全国で1位の品目を取り上げてみました。（グラフは、全国平均及び上位5位を示しています。）



鳥取の魚介は新鮮でおいしいからね！



出典：総務省「家計調査」
平成21年～23年平均の全国ランキング



平成24年就業構造基本調査

総務省統計局編集発行「統計調査ニュースNo.311」より引用

10月1日に「平成24年就業構造基本調査」が実施されました。

就業構造基本調査は、ふだん何か収入になる仕事をしているかどうかや就業に関する希望などを明らかにする統計調査で、5年ごとに行われています。就業・不就業の実態を種々の観点からとらえ、我が国の就業構造を全国だけでなく、地域別にも詳細に明らかにし、雇用政策、経済政策等の各種行政施策立案の基礎資料を得ることや学術研究のための利用に資することなどを目的としています。

調査結果は、平成25年7月までに公表される予定です。

～今回調査の集計のねらい～

1) 非正規職員（従業員）の就業実態を明らかにする

年々増加しているパートやアルバイトなどの非正規職員（従業員）の状況や就業実態をより正確に把握するため、雇われている人の雇用契約期間の定めの有無や1回あたりの雇用契約期間、契約更新の状況などが新たに調査されました。

2) 就業と育児・介護の関係を明らかにする

就業者における育児や介護の状況や育児・介護休業制度の利用状況、育児や介護で働けない人の就業希望の状況などの詳細を明らかにするため、ふだんの育児や介護の状況、1年間の育児休業や介護休業の制度の利用状況などが新たに調査されました。

3) 東日本大震災が仕事に及ぼした影響を明らかにする

今回調査は、原子力発電所事故を含む震災が我が国の就業に及ぼした大きな影響について考慮する必要があります。その影響を客観的に把握し今後の復興政策、大規模災害発生時の雇用対策等に資するものとなるよう調査されました。

4) 地域別の集計結果の充実

これまで提供されてきた都道府県別結果と市町村別結果の間を補うものとして、「県内経済圏別」の集計結果が提供されます。これは、各都道府県内を生活圏（商圏など）を中心としたいくつかのブロックに区分するもので、鳥取県内の経済圏は、「東部圏」「中部圏」「西部圏」の3圏です。

研修会に奮ってご参加ください！

今年度も各種研修等が開催されましたので、その一部をご紹介します。県ではこれからも、実際の調査活動に役立つ研修となるよう、内容の充実を図ってまいります。

都道府県別登録調査員研修



丸講師の講義を聞く東部会場参加者



西部会場の班別討議の様子

開催日 東部会場（県庁） 7月23日（月）
西部会場（県西部総合事務所） 7月24日（火）
内容（かっこ内は講師）
「統計調査について」講義（県担当職員）
「接遇・話し方について」講義（株エスピー研 丸章子氏）
班別討議 テーマ：調査員活動において気をつけていること

総務省主催によるこの研修は平成22年度に初めて開催され、3回目となる今年度は、東部会場で47名、西部会場で26名の方に参加いただきました。

民間調査会社(株)エスピー研の丸講師からは、調査対象者への一般的な訪問時間は季節により変化すること、携行するカバンはファスナー付きの肩掛けが便利であること、子どもだけの在宅の場合は日時を改めること、訪問時は失礼のないよう帽子・コートは脱ぐこと、調査票は両手で受け取ること、など実際の調査活動で参考となる事柄について教えていただきました。

班別討議は、調査員同士の情報交換の場にもなり、活発に意見が出されました。他の調査員の日頃の工夫を知る貴重な機会としていただけたのではないかと思います。

第62回全国統計大会

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の関連行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、我が国の統計の進歩発展と統計思想の普及啓発に資することを目的に開催されています。

第62回となる今年度の大会では、本県三朝町の松原賢二調査員が、全国の労働統計関係（毎月勤労統計調査）統計調査員部門 厚生労働大臣表彰受賞者63名を代表して表彰を受けられました。

松原調査員に、大会へ参加された感想やこれまでの調査活動のご苦労などについて伺いました。

主催 総務省、公益財団法人統計情報研究開発センター
開催日 11月16日（金）
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
内容 ○各種表彰 ・「統計調査功績者」各省大臣表彰
・第60回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰
○大内賞授与
○第33回統計シンポジウム



（右）厚生労働大臣表彰を受賞された松原調査員

● 受賞おめでとうございます。大会に参加されていたいかがでしたか？

一家庭の事情もあり、日帰りという強行日程で参加しました。他県の調査員さんとは、当日開会前の控室で大会担当者から説明を受ける前の短い時間に、お茶を飲みながら挨拶を交わした程度で情報交換などができず残念でした。季節によっては厳しい気候となる鳥取の地において、長年続けてこられたのは何より健康だったからこそ、と改めて感慨深く思いました。

● 調査員になられたきっかけをお聞かせください。

一三朝町教育委員会で仕事をしておりました当時、役場の統計担当者から「やってみないか」と声をかけられたのがきっかけで、最初の仕事は昭和45年の国勢調査でした。以来、役場に勤務しながら本業の傍ら各種統計に従事し、退職後も続けています。

● 長年の調査活動で印象に残っていることはありますか？

一飲食業が対象の調査で訪問した際、よく『怒られた』ことでしょうか。昼間は開いていませんし、夜は営業していらっしゃるので煙たがられました。丁寧に説明をし、何度も足を運びました。

● そのような困難な場面に直面しても乗り越える、松原さんなりのストレス解消法はありましたか？

一特別なことはありません。とにかく最初の訪問の際に、いつごろ話を聞いてもらえるのかを聞いて帰り、約束した時間は必ず守るということ、事業所であれば昼間、予約を入れてから出かける、個人宅であれば在宅時間はだいたいわかるので、その時間をめがけて訪問する、ということをしてまいりました。

● 「熱意を持って根気よく」ということですね。最後にお元気の秘訣を教えてください。

一今から20年ほど前に胃がんの手術を受けました。それ以来、医者言うことをよく聞いて、食生活も見直し、今では健康に暮らしています。病気を契機に健康を見直すことができました。

● ありがとうございました。

登録調査員中央研修

開催日 12月6日（木）～7日（金）
会場 総務省第2庁舎（東京都）

地域で中核的・指導的な役割を果たす登録調査員の資質向上を主目的に、10年以上の経験を持つ登録調査員を対象として総務省が毎年実施しているこの研修へ、今年度は全国から登録調査員91名、行政職員29名が参加しました。本県からは、鳥取市の井関絹江調査員と小泉雅子調査員に参加いただきましたので、お二人の感想を紹介します。

内容

1. 統計からみたスポーツの今昔ー平成23年社会生活基本調査の結果からー（講義）
2. 毎月勤労統計調査の概要ー最新の調査結果と活用事例を中心にー（講義）
3. 工業統計調査の概要（講義）
4. 調査協力を得るための接遇と話し方ー依頼（お願い）に関する心理ー（講義）
5. 班別討議 課題：調査客体から協力を得るには何が必要か？
6. 平成25年住宅・土地統計調査の実施と広報（講義）

参加されたお二人から印象に残った研修内容を伺いました。

○「調査協力を得るための接遇と話し方」講義概要○

人は出会って最初の6秒で相手の印象を決める。好印象で大事なものは微笑みとアイコンタクト。「ご協力をお願いします」と気持ちを込めて丁寧に聞き取りやすいはっきりとした話し方をお願いします。統計調査は調査員の態度、言動、姿勢にかかっている。明るく丁寧な態度で相手の目を見てにこやかに調査の趣旨、概要、使われ方、書き方等わかりやすく説明すること。『伝える』と『伝わる』は違う。『伝わる』というのは相手に理解してもらい、次の行動に移ってもらうということ。「あなたが担当でよかった」と思われる調査員になること。



小泉調査員（左）と井関調査員（右）

○班別討議で出た意見○

- ・個人情報保護法により調査がやりづらくなった。
 - ・オートロックマンションの増加、単身者、学生アパートが多く面会が困難である。
 - ・統計調査の結果が見えてこない。
 - ・客体が各統計調査の必要性を認知していない。
 - ・効果的な広報が足りない。学生の関心が薄いので大学に広報依頼をしてはどうか。
 - ・調査票が複雑なものが多く高齢者にわかりにくい。
- このような状況下でも正確な数値を得るために100%回収を目指して何度も訪問する努力をしている。

研修を終えて感想を伺いました。

小泉調査員

不在世帯の増加や個人情報保護意識の高まりなど、調査員活動を取り巻く環境が大きく変化し調査が困難となっている一方、統計調査は、国、都道府県の政策立案に使用されるだけでなく、小中高等学校の教育資料となるほか、企業や大学で活用されたり、国連やOECDにも提供されている重要なものであるということを改めて認識しました。

調査員として少しでも正確な統計データが出せるよう誇りを持って調査を行いたいと思います。

井関調査員

全国の調査員の方々の意見を聞くことができ、皆さんが同じ事に困っておられることがわかり、落ち込まず頑張っていこうと思いました。

今度の住宅・土地統計調査は、総務省としてはマンション管理団体等関係者への広報を強化すると説明がありました。

統計資料館を見学し、説明を受けたことで、統計の重要性、大切さをより一層強く感じました。

～おまけ～ 井関調査員から研修で紹介されたストレス対応方法を教えてくださいました。



第30回全国都市緑化とっとりフェアマスコット「花トリピー」

コピーレンス法（心拍一貫法）

- ・イスにゆったり腰掛ける
- ・心臓周辺に意識を向ける
- ・心臓の周辺から空気が出入りしていることをイメージして2～3分深呼吸する（4秒吸って4秒吐く）
- ・肯定的な感情を想起する（家族や友人への『感謝』『いたわり』『愛情』『共感』を感じる）
- ・上記ができない人は、自分が一番落ち着ける風景や趣味を想起する。

よろしく
お願いします

平成25年度に実施される

統計調査（調査員調査）の一覧

調査名・調査基準日 市町村	市町村委託分			県直接調査分									
	住宅・土地統計調査	漁業センサス	工業統計調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第一種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	商業動態統計調査	特定サービス産業 実態調査	鉱工業生産動態調査
	10.1	11.1	12.31	毎月	隔月	毎月	毎月	毎四半期	毎月	7.31	毎月	7.1	毎月
鳥取市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米子市	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
倉吉市	○		○				○		○	○	○	○	○
境港市	○	○	○				○		○	○		○	○
岩美町	○	○	○	○					○				
若桜町	○		○				○						
智頭町	○		○			○	○		○	○			
八頭町	○		○						○				
三朝町	○		○				○						
湯梨浜町	○	○	○				○		○	○			
琴浦町	○	○	○				○	○	○	○			
北栄町	○	○	○				○		○	○			
日吉津村	○	○	○										
大山町	○	○	○				○						
南部町	○		○							○			
伯耆町	○		○				○						
日南町	○		○				○			○			
日野町	○		○										
江府町	○		○										

注：○印は対象市町村を示す。

～統計パネル貸出のご案内～



統計課では、県民の方々に統計への関心を高めていただくため、各種統計調査の結果をわかりやすいグラフにして表した「統計パネル」を毎年作成しており、今年度は、農林業センサス、国勢調査、社会生活基本調査のパネルが新しくなりました。

これらのパネルの貸出を行っていますので、活用していただく機会があればお知らせください。

今年度も統計パネルを活用した鳥取県統計調査員会の皆さんによる統計普及活動が行われました。

地道な活動に熱心に取り組んでいただき、ありがとうございます。

4月29日（日） 倉吉未来中心

9月30日（日） とりぎん文化会館

12月8日（土） 米子市文化ホール

